

避難情報について

日頃から災害情報に注意し、「もしも…」の時に備えてください。

避難情報

災害のおそれがある場合、市から避難情報が出されますので、速やかに避難してください。
市が発令する避難情報は以下の3つがあります。
また発令前でも身の危険を感じたら、自主的に避難行動を開始しましょう。

避難勧告や
避難指示(緊急)を
発令することが
予想される場合

避難準備・ 高齢者等避難開始

- いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方等)は避難を開始しましょう。

災害による被害が
予想され、
人的被害が発生する
可能性が高まった場合

避難勧告

- 避難場所へ避難しましょう。
- 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難しましょう。

災害が発生するなど
状況がさらに悪化し、
人的被害の危険性が
非常に高まった場合

避難指示(緊急)

- まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難しましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

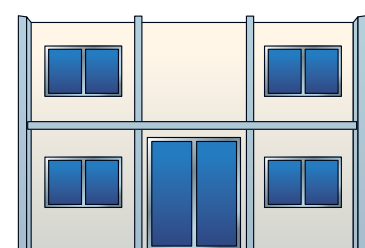
※必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

防災情報の伝達経路

雨量や河川に関する情報、避難や防災に関する情報は、次の経路でみなさんに伝わります。
これらの情報は、テレビ・ラジオやインターネットなどを通じて、自主的に取得することもできます。
積極的に情報を入手し事前の備えを万全にしましょう。
※裏表紙も参照してください。

国土交通省・千葉県・気象庁等関係機関

- ◆気象警報・注意報
- ◆河川水位情報
- ◆土砂災害警戒情報
- ◆水防警報など
- ◆雨量情報



香取市役所 総務課(災害対策本部)

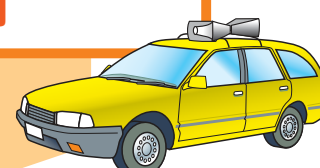
気象情報、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)など

- ◆巡回
- ◆広報
- ◆防災行政無線

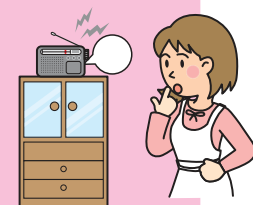


消防関係機関

- ◆広報車
- ◆パトロール車



- ◆テレビ
- ◆ラジオ
- ◆インターネット



市民のみなさん

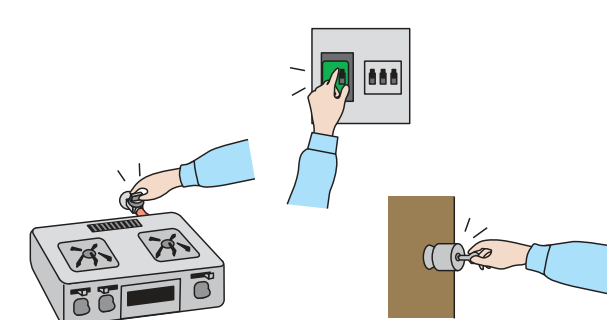
避難時の注意点

みんなで助け合い、落ち着いて
早めに避難できるようにしましょう!

避難時の注意点

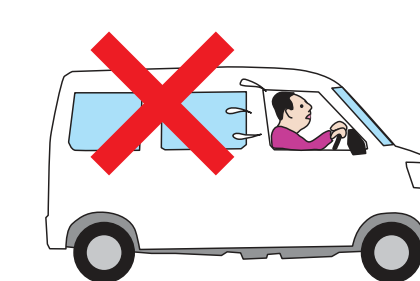
戸締り・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行います。
避難時の持出し品は必要最小限になるようまとめましょう。



車での避難は控える!

緊急車両の通行に妨げになります。
浸水すると動けなくなりますので危険です。



速やかに避難を!

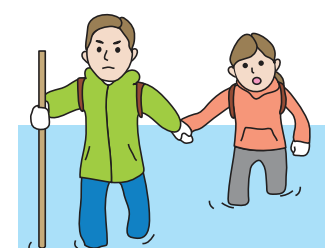
動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。
災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取り、家に帰らないようにしましょう。



洪水・土砂災害での避難の仕方

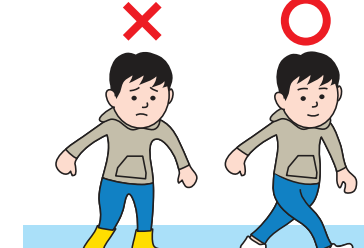
歩ける深さに気をつける!

歩ける深さは平均約50cm。
水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう!



履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。
ひもで締められる運動靴が良いでしょう。



ロープでつながる!

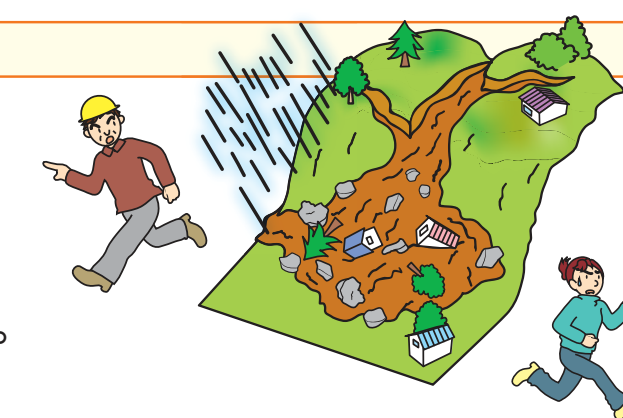
はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しましょう!
また、水面下には危険が潜んでいます。
長い棒を杖がわりに安全確認をして下さい。



もしも、土石流に遭遇したら

逃げ方に注意しましょう!

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。
土石の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。



援助が必要な人がいたら

高齢者や病気の方

お年寄りや子ども、病気の方などは、早めの避難が必要です。
みなさんと協力して避難しましょう。



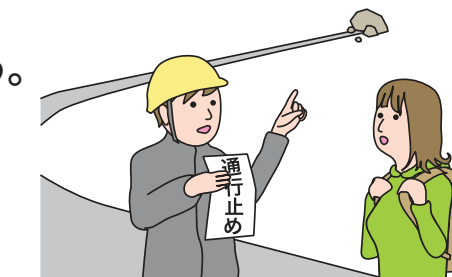
目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。
誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらいゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。



耳の不自由な方

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。
手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。



体の不自由な方

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で! 昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにします。

